

米国ジョージア大学の研究者らによる

遺伝育種学 特別講演セミナー

～動物育種の過去・現在・未来～

参加
無料

札幌 10月8日 火

札幌市中央区 北農ビル 19F 第5会議室

どちらも

13:00～17:00

東京 10月10日 木

東京大学 中島董一郎記念ホール

講演会終了後、希望者を募って講師との研究交流会（有料）を開催予定です。

- 米国ジョージア大学（University of Georgia）の遺伝育種学チームは、ゲノミック選抜の理論とその実証研究において世界をリードしています。その成果は、動物および植物の選抜育種に応用されています。また、量的遺伝学研究のためのソフトウェア BLUPF90 の開発元でもあります。本セミナーでは、主に動物の遺伝育種に関するこれまでの研究課題、最新の研究成果、今後の展望について、ご講演いただく予定です。講師とのフリーコミュニケーションの時間も設けますので、お気軽にご参加ください。皆様のお越しをお待ちしております。



Ignacy Misztal 氏
Distinguished Professor
(講演)

家畜はどこに向かうか - 動物
育種の過去・現在・未来



Daniela Lourenco 氏
Associate Professor
(講演)

家畜育種学における
最新の研究動向



鶴田彰吾 氏
Associate Research Scientist
(講演)

育種技術の産業界への
応用における課題



増田豊 氏
酪農学園大学 准教授
(講演・進行)

日本の家畜集団における
ゲノミック選抜の応用

参加される方は
メールでお知らせください

酪農学園大学 増田 豊 (yutaka @ rakuno.ac.jp)

- ※ 詳細は別添のご案内をご覧ください。
- ※ 講演内容は予告なく変更される可能性があります。

2024年9月25日

各位

酪農学園大学
増田 豊

米国ジョージア大学の研究者らによる特別講演のお知らせ [札幌会場]

～動物育種の過去・現在・未来～

拝啓 平素より大変お世話になっております。

このたび、米国ジョージア大学の動物遺伝育種チームより、Ignacy Misztal 教授、Daniela Lourenco 准教授、Shogo Tsuruta (鶴田彰吾) 博士をお招きし、動物育種の過去・現在・未来をテーマにした特別講演セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

講師の方々は、とくに家畜の遺伝能力評価およびゲノミック選抜の方法論とその実証研究において第一線でご活躍中です。近年では、魚類、昆虫、作物の量的遺伝学的解析についての研究・技術供与をさかんに行っています。さらに、本チームは、世界中で利用されているソフトウェア群 BLUPF90 の開発元でもあります。本セミナーでは、遺伝育種に関するこれまでの研究課題、最新の研究成果、今後の展望について、ご講演いただく予定です。

なお、**ご参加を希望される方は、収容人数の都合上、事前に下記申込先までご連絡ください。**皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

開催日：2024年10月8日（火）

時 間：13:00 から 17:00 まで

場 所：北農ビル 19階 第5会議室（札幌市中央区北4条西1丁目）

参加費：無料

後 援：酪農学園大学

（講師経歴および講演の詳細は別紙をご参照ください）

お申し込み先・お問い合わせ

酪農学園大学 増田 豊

TEL: 011-388-4760

yutaka@rakuno.ac.jp

- ※ 講演は日本語（増田と鶴田氏）および英語（Lourenco 氏と Misztal 氏）で行います。
- ※ 事前申し込みせずにお越しになる場合、収容人数に空きがある場合に限り、ご参加できます。
- ※ 講演会終了後、希望者のみを集め、講演者との研究交流会を予定しております(参加費あり)。研究交流会の会場および参加費については、後日個別にお知らせいたします。参加を予定される方は、事前にお知らせください。

以上

2024年9月25日

各位

酪農学園大学
増田 豊

米国ジョージア大学の研究者らによる特別講演のお知らせ [東京会場]

～動物育種の過去・現在・未来～

拝啓 平素より大変お世話になっております。

このたび、米国ジョージア大学の動物遺伝育種チームより、Ignacy Misztal 教授、Daniela Lourenco 准教授、Shogo Tsuruta (鶴田彰吾) 博士をお招きし、動物育種の過去・現在・未来をテーマにした特別講演セミナーを下記の通り開催いたしますので、ご案内申し上げます。

講師の方々は、とくに家畜の遺伝能力評価およびゲノミック選抜の方法論とその実証研究において第一線でご活躍中です。近年では、魚類、昆虫、作物の量的遺伝学的解析についての研究・技術供与をさかんに行っていきます。さらに、本チームは、世界中で利用されているソフトウェア群 BLUPF90 の開発元でもあります。本セミナーでは、遺伝育種に関するこれまでの研究課題、最新の研究成果、今後の展望について、ご講演いただく予定です。

なお、**ご参加を希望される方は、事前に下記申込先までご連絡ください。**皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

開催日：2024年10月10日(木)

時間：13:00から17:00まで

場所：東京大学 中島董一郎記念ホール (東京都文京区弥生 1-1-1)

参加費：無料

後援：酪農学園大学

(講師経歴および講演の詳細は別紙をご参照ください)

お申し込み先・お問い合わせ

酪農学園大学 増田 豊

TEL: 011-388-4760

yutaka@rakuno.ac.jp

- ※ 講演は日本語(増田と鶴田氏)および英語(Lourenco氏とMisztal氏)で行います。
- ※ 事前申し込みせずにお越しになる場合、収容人数に空きがある場合に限り、ご参加できます。
- ※ 講演会終了後、希望者のみを集め、講演者との研究交流会を予定しております(参加費あり)。研究交流会の会場および参加費については、後日個別にお知らせいたします。参加を予定される方は、事前にお知らせください。

以上

講演プログラム（予定）

10月8日 火曜日（札幌）

- 13:00 開会
13:00 – 13:30 開会講演 増田 豊
わが国の家畜集団におけるゲノミック
選抜の応用 – 乳用牛を例にして
13:30 – 14:15 講演 Daniela Lourenco 氏
家畜育種学における最新の研究動向 –
ジョージア大学の研究事例
14:15 – 14:30 休憩
14:30 – 15:15 講演 Shogo Tsuruta 氏
育種技術の産業界への応用における課
題
15:15 – 16:00 講演 Ignacy Misztal 氏
家畜はどこに向かうか – 動物育種の
過去・現在・未来
16:00 – 16:55 総合討論
参加者と講演者間のフリーコミュニケ
ーションの場を設けます。意見交換お
よび交流の場としてご活用ください。
17:00 閉会

10月10日 木曜日（東京）

- 13:00 開会・講演者紹介
13:05 – 13:45 講演 Daniela Lourenco 氏
家畜育種学における最新の研究動向 –
ジョージア大学の研究事例
13:45 – 14:15 フリーコミュニケーション
14:15 – 14:45 講演 増田 豊
わが国の家畜集団におけるゲノミック
選抜の応用 – 乳用牛を例にして
14:45 – 15:30 講演 Shogo Tsuruta 氏
育種技術の産業界への応用における課
題
15:30 – 16:15 講演 Ignacy Misztal 氏
家畜はどこに向かうか – 動物育種の
過去・現在・未来
16:15 – 16:55 総合討論
参加者と講演者間のフリーコミュニケ
ーションの場を設けます。意見交換お
よび交流の場としてご活用ください。
17:00 閉会

※ 札幌と東京で進行が一部異なります。なお、都合によりプログラムが変更になる可能性があるので、あらかじめご了承ください。

※ 札幌と東京で同じ講演を行う予定です。演題はすべて仮題です。実際の講演内容が予告なく変更される可能性があることにご留意ください。

講師略歴

- Ignacy Misztal, Ph.D. 米国ジョージア大学 卓越研究教授および D.W.Brooks 教授
Distinguished Research Professor and D.W. Brooks Professor, University of Georgia
- Daniela A. L. Lourenco, Ph.D. 米国ジョージア大学 准教授
Associate Professor, University of Georgia
- Shogo Tsuruta（鶴田彰吾）, Ph.D. 米国ジョージア大学 アソシエイト専任研究員
Associate Research Scientist, University of Georgia
- 増田 豊, 博士（農学） 酪農学園大学 准教授

Ignacy Misztal, Ph.D. 1985年ポーランド科学アカデミーより博士号。世界各国の大学における研究職を経て、1996年に米国ジョージア大学准教授、2001年に同大教授、2018年に同大卓越教授 (Distinguished Professor)。家畜の遺伝能力評価におけるアニマルモデルの実用化、分散成分の推定における計算技法、家畜の暑熱ストレスの遺伝モデル開発、ゲノミック選抜における「シングルステップ法」の開発等における先駆的な研究において著名。BLUPF90プログラム群の最初の開発者。査読付き論文、招待講演、招待授業、受賞歴いずれも多数。専門は家畜育種学。



Daniela A. L. Lourenco, Ph.D. 2012年にブラジル・マリンガ州立大学より博士号。2015年に米国ジョージア大学 Assistant Professor、2021年より同大准教授。現在、大学院生、訪問研究者、博士研究員の常時15名程度からなるチームを統括し、乳用牛、肉用牛、豚、鶏、魚類のゲノミック選抜に関する基礎的研究、モデル開発およびその実用化上の問題解決に携わる。2つの科学雑誌の編集者。国際共同研究の実績多数。2024年に米国畜産学会 Innovation in Animal Breeding and Genetics Award を受賞。専門は家畜育種学。



Shogo Tsuruta (鶴田彰吾), Ph.D. 北海道出身。日本の乳用牛育種の研究に携わった後、渡米。1998年に米国ネブラスカ大学より博士号。同年、米国ジョージア大学に移り、以後、専任研究員として家畜育種学における理論的・実用的研究に従事。大規模な遺伝能力評価を実現するソフトウェアの開発、米国ホルスタイン集団の遺伝能力評価に関する諸問題の解決をはじめ、ゲノミック選抜の応用に関わる研究多数。最近の興味は魚類における選抜育種の最適化。2021年の米国酪農学会 J. L. Lush Award 受賞者。専門は家畜育種学。



増田 豊. 博士 (農学). 北海道出身。2008年岩手大学より博士号。同年、帯広畜産大学助教。乳用牛のほかウマの育種に携わる。2014年に米国ジョージア大学に移り、専任研究員として、大規模なゲノミック選抜の実用化に関する研究、血統情報が欠損した集団における遺伝モデルの開発、量的形質の解析における効率的な計算技法の開発とその BLUPF90 への実装に従事。2021年より酪農学園大学准教授。乳用牛の選抜法の研究に携わるほか、わが国の乳牛改良に関わる複数の事業において委員を務める。専門は家畜育種学。

